



世界トップクラスを目指す国際フォワード

# 2022年2月期 第2四半期 決算補足資料

2021年10月12日

株式会社エーアイテイナー

東証第一部  
【証券コード 9381】

# 目次



## 業績概要 (2022年2月期 第2四半期決算概要)

・ 2022年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-1~3	頁
業績ハイライト	4
事業項目別比較-営業収益・売上総利益	5
販売費及び一般管理費 増減詳細	6
・ セグメントの概要	7
・ 2022年2月期 第2四半期連結業績予想比較	8
・ 海上輸送コンテナ本数・通関受注件数推移	9

## 業績見通し (2022年2月期 通期見通し)

・ 2022年2月期 通期見通し	
連結業績	11
経営指標	12

業 績 概 要  
(2022年2月期 第2四半期決算概要)



# 2022年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-1



## ■ 業績ハイライト

～ 前年同期比較 ～

(単位:百万円)

	2021年2月期 第2四半期累計期間		2022年2月期 第2四半期累計期間		前年同期比増減	
	金額	営業収益 比率	金額	営業収益 比率	金額	前年同期比
営業収益	21,581	100.0%	26,971	100.0%	+5,390	+25.0%
売上総利益	3,854	17.9%	4,501	16.7%	+646	+16.8%
(販売費及び 一般管理費)	(2,970)	(13.8%)	(2,967)	(11.0%)	(△2)	(△0.1%)
営業利益	883	4.1%	1,533	5.7%	+649	+73.5%
経常利益	1,051	4.9%	1,673	6.2%	+621	+59.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	716	3.3%	974	3.6%	+258	+36.1%

- 一貫輸送の更なる獲得を目指し、新規顧客の開拓と既存顧客との取引深耕を推進。  
巣ごもり消費の拡大から生活雑貨や家電製品等の取扱いは堅調さを維持。  
アパレル関連製品の取扱いは僅かながら回復基調にあったが、外出自粛の影響から未だ低調な推移となっている。
- 海上コンテナの不足等により、当社グループで取扱う海上輸送の一部航路でも海上運賃が高騰しており、当第2四半期連結累計期間での業績拡大、収益向上の追い風となった。
- 事業活動に掛かる費用の圧縮に努めたことで、販売費及び一般管理費は前年同期と同水準を維持。  
営業利益以下の段階利益も前年同期を大きく上回る事となった。



# 2022年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-2



## ■ 事業項目別比較-営業収益・売上総利益【前年同期比較】

(単位:百万円)

【営業収益】	2021年2月 第2四半期累計期間		2022年2月期 第2四半期累計期間		増減額	増減 内訳額	増減内訳
	金額	構成比	金額	構成比			
単 体	海上輸送	8,100	37.5%	12,157	45.1%	+4,056	+74 為替の影響(1USD 108.20円⇒110.54円) +3,721 販売価格の上昇 +261 貨物量の増加(単体:+2,480TEU)
	航空輸送	224	1.1%	327	1.2%	+102	+4 為替の影響 △1 販売価格の低下 +100 貨物量の増加
	通 関	2,377	11.0%	2,423	9.0%	+46	+46 単体での受注件数は減少(△795件)も 配送費等の単価は上昇 (注)連結ベースでは受注件数は増加
	その他	727	3.4%	578	2.1%	△149	△149 3PLなどの収益減少
子会社(注)	10,150	47.0%	11,484	42.6%	+1,333	+870 日新運輸及び同社子会社分 +463 上記以外の子会社分	
合 計	21,581	100.0%	26,971	100.0%	+5,390		

(単位:百万円)

【売上総利益】	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減 内訳額	増減内訳
	金額	構成比	金額	構成比			
単 体	海上輸送	1,311	28.4%	1,719	33.1%	+407	+12 為替の影響 +3,721 販売価格の上昇要因 △3,363 仕入価格の上昇要因 +37 貨物量の増加
	航空輸送	40	0.9%	63	1.2%	+23	+1 為替の影響 △1 販売価格の低下要因 +3 仕入価格の低下要因 +20 貨物量の増加
	通 関	691	15.0%	719	13.8%	+28	+28 外注の減少、配送費等の価格転嫁
	その他	65	1.4%	45	0.9%	△20	△20 受注の減少
子会社(注)	2,509	54.3%	2,653	51.0%	+143	+113 日新運輸及び同社子会社分 +30 上記以外の子会社分	
小 計	4,617	100.0%	5,200	100.0%	+583		
販売管理費⇒原価へ振替	△762		△699		+63		
合 計	3,854		4,501		+646		

(注) 子会社にてセグメント情報における日本の「セグメント間の内部営業収益又は振替高」を減算しております。



# 2022年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-3



## ■ 販売費及び一般管理費 増減詳細 (前年同期比較)

(単位:百万円)

	2021年2月期 第2四半期累計期間		2022年2月期 第2四半期累計期間		増減額
	金額	営業収益比率	金額	営業収益比率	
営業収益	21,581	100.0%	26,971	100.0%	前年同期比 1.2pt低下 +5,390
売上総利益	3,854	17.9%	4,501	16.7%	+646
販売費及び一般管理費 合計	2,970	13.8%	2,967	11.0%	前年同期比 2.8pt低下 △2
(内 人件費) (注)	1,901	8.8%	1,970	7.3%	+69
(内 販売費) (注)	143	0.7%	149	0.6%	+6
(内 固定費) (注)	925	4.3%	847	3.1%	前年同期比 1.6pt上昇 △78
営業利益	883	4.1%	1,533	5.7%	+649

(注) 2022年2月第2四半期連結累計期間において、各費目間の調整を行っております。前年同期の各費目の数値については、その調整内容を遡及させ反映しております。

- 海外での法定福利費の増加が主となり人件費は増加したが、事業活動に掛かる費用の圧縮にも取り組み、販売費及び一般管理費は前年同期と同水準を維持。
- 売上総利益率は低下したものの、それ以上に販売費及び一般管理費の比率が低下し、営業利益率の改善に繋がった。

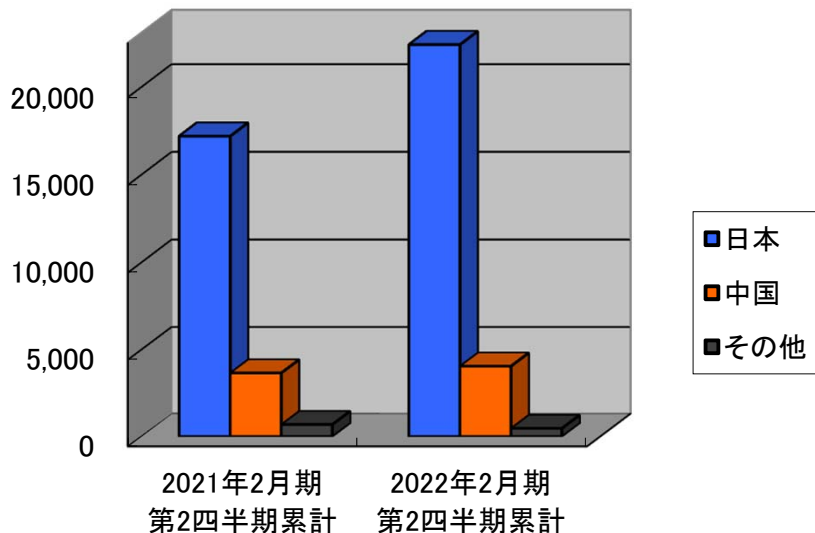


# セグメントの概要



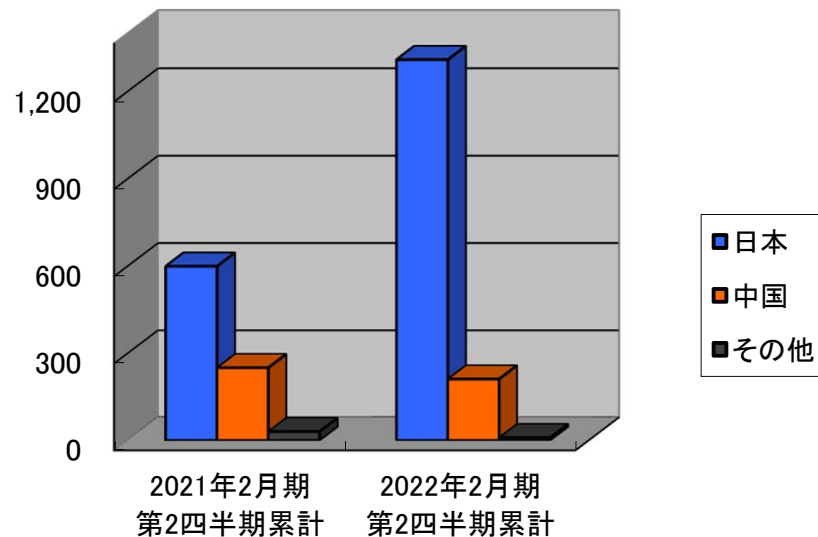
## (営業収益)

(単位:百万円)



## (営業利益)

(単位:百万円)



(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2021年2月期 第2四半期累計	2022年2月期 第2四半期累計	増減
(注1)	金額	金額	金額
日本	17,216	22,435	+5,218
中国 (注2)	3,670	4,061	+390
その他 (注3)	693	474	△219
合計	21,581	26,971	+5,390

	2021年2月期 第2四半期累計	2022年2月期 第2四半期累計	増減
(注1)	金額	金額	金額
日本	600	1,310	+710
中国 (注2)	251	212	△39
その他 (注3)	31	10	△21
合計	883	1,533	+649

(注)1. 「日本」、「中国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人となります。

3. 「その他」の区分は、米国、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人となります。

なお、2022年2月期 第1四半期連結会計期間において、米国の現地法人「AIT International of America, Inc.」が清算終了したため、連結の範囲から除外しております。



# 2022年2月期 第2四半期連結業績予想比較



## ■ 営業収益(売上高)及び損益関係 ～ 予想比較 ～

(単位:百万円)

	2022年2月期 第2四半期累計				予想比 増減	
	予想値 (2021年7月13日公表値)		実績			
	金額	営業収益比率	金額	営業収益比率	金額	予想比
営業収益	26,200	100.0%	26,971	100.0%	+771	+2.9%
売上総利益	4,380	16.7%	4,501	16.7%	+121	+2.8%
(販売費及び一般管理費)	(3,060)	(11.7%)	(2,967)	(11.0%)	(△92)	(△3.0%)
営業利益	1,320	5.0%	1,533	5.7%	+213	+16.2%
経常利益	1,430	5.5%	1,673	6.2%	+243	+17.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	950	3.6%	974	3.6%	+24	+2.6%

### 【主な増加・減少要因】

#### 営業収益

想定よりも+771百万円となった要因：

〈以下①～⑤は単体ベース〉

- ①輸送貨物量の未達 **△16百万円**  
【海上△24百万円、航空+8百万円】  
【海上貨物予想 115,600TEU → 115,373TEU 約△230EU】
  - ②通関関連 **△127百万円**  
【通関件数予想 39,000件 → 36,971件 約△2,000件】
  - ③為替要因 **+43百万円**  
【1米ドル予想為替 109.00円 → 実績110.54円 +1.54円】
  - ④価格要因【販売価格】 **+590百万円**  
【海上+575百万円、航空+15百万円】
  - ⑤その他要因(3PL事業等) **△104百万円**
  - ⑥子会社要因で **+384百万円**
- 合計+771百万円**

#### 売上総利益

想定よりも+121百万円となった要因：

〈以下①～⑥は単体ベース〉

- ①輸送貨物量の未達 **△4百万円**  
【海上輸送△5百万円、航空+1百万円】
  - ②通関関連 **△46百万円**
  - ③為替要因 **+6百万円**
  - ④価格要因【販売価格と仕入価格の関係】  
**+133百万円**【海上+132百万円、航空+1百万円】
  - ⑤その他 **△17百万円**
  - ⑥国際貨物輸送、通関業務及び配送に係る部門費 **+30百万円**
  - ⑦子会社要因 **+18百万円**
- 合計+121百万円**

#### 販売費及び一般管理費

期初想定よりも、△92百万円になった主な要因：

人件費 **△39百万円**、販売費 **△12百万円**、固定費 **△40百万円**





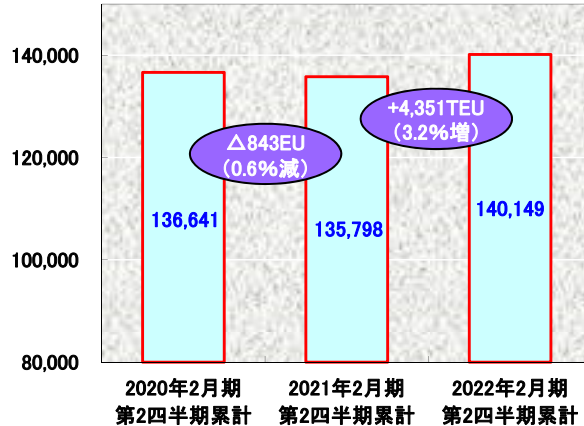
# 海上輸送コンテナ本数・通関受注件数推移



## 取扱い海上輸送コンテナ本数推移

(TEU)

(単位:本数=TEU)



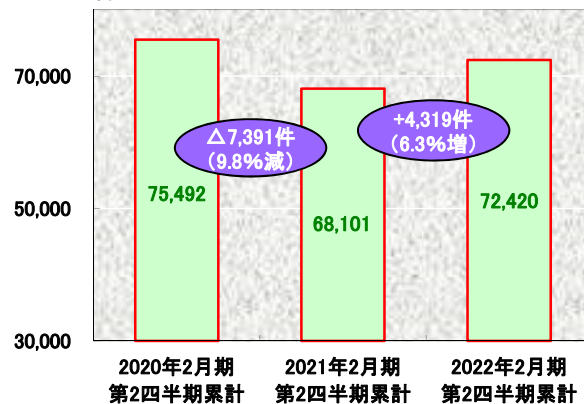
	2020年2月期 第2四半期累計 (当社)			2021年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸と同社子会社分)			2022年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)		
	本数	増減数	増減比	本数	増減数	増減比	本数	増減数	増減比
輸入	128,088	+28,232	+28.3%	129,385	+1,297	+1.0%	133,385	+4,000	+3.1%
輸出	8,553	+2,324	+37.3%	6,413	△2,140	△25.0%	6,764	+351	+5.5%
合計	136,641	+30,556	+28.8%	135,798	△843	△0.6%	140,149	+4,351	+3.2%

(注) 2020年4月1日付にて、日新運輸株式会社を存続会社とし、同社の子会社であるニッシントランスコンソリデーター株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っております。

## 通関受注件数推移

(件)

(単位:件)



	2020年2月期 第2四半期累計 (当社)			2021年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)			2022年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)		
	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比
輸入	62,173	+22,816	+58.0%	57,359	△4,814	△7.7%	59,728	+2,369	+4.1%
輸出	13,319	+9,545	+252.9%	10,742	△2,577	△19.3%	12,692	+1,950	+18.2%
合計	75,492	+32,361	+75.0%	68,101	△7,391	△9.8%	72,420	+4,319	+6.3%

業 績 見 通 し  
(2022年2月期 通期見通し)



## ■ 連結業績

(単位:百万円)

		2021年2月期 (実績)	営業収益比	2022年2月期 (実績・予想)	営業収益比	増減金額	前年同期比
上期	営業収益	21,581	100.0%	26,971	100.0%	+5,390	+25.0%
	営業利益	883	4.1%	1,533	5.7%	+649	+73.5%
	経常利益	1,051	4.9%	1,673	6.2%	+621	+59.2%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	716	3.3%	974	3.6%	+258	+36.1%
通期	営業収益	45,797	100.0%	53,000	100.0%	+7,202	+15.7%
	営業利益	2,304	5.0%	2,830	5.3%	+525	+22.8%
	経常利益	2,545	5.6%	3,050	5.8%	+504	+19.8%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1,732	3.8%	2,040	3.8%	+307	+17.8%

(注) 通期の業績予想値は、2021年7月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しております値となります。

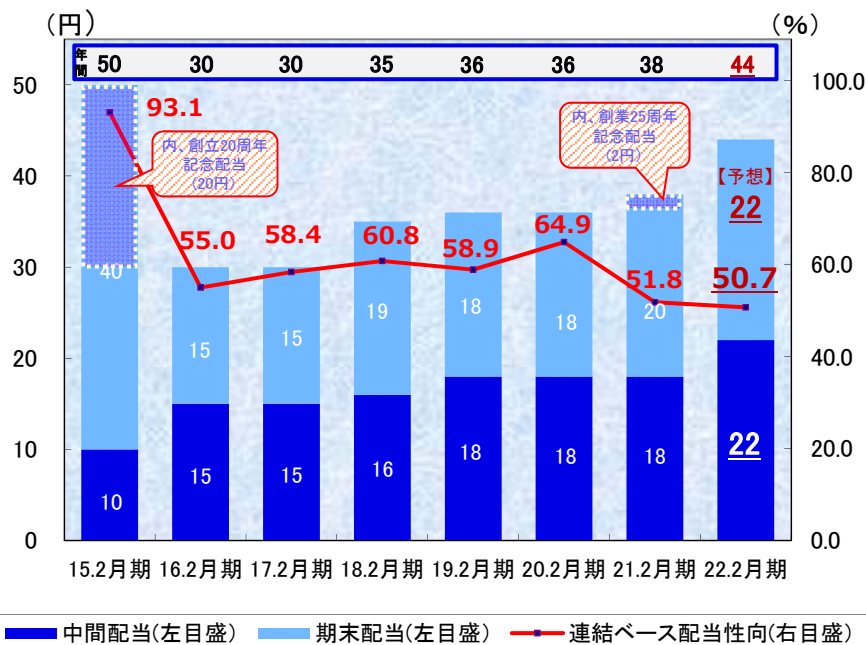


# 2022年2月期 通期見通し—経営指標



## ■ 1株当たり年間配当金、及び連結ベース配当性向 (注)

## ■ 連結ベース 1株当たり当期純利益 (注)



- (注) 1. 当社は2019年3月1日付の日新運輸株式会社との株式交換に伴い、交付する4,800,000株の内、4,159,200株は新株発行を行い、残り640,800株は自己株式を充当しております。  
 2. 当社は、2019年11月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式220,000株の取得を行いました。  
 3. 当社は、2020年7月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式199,800株の取得を行いました。

### 【2022年2月期】

- 中間配当..... 1株当たり**22円**で実施。(前期・中間から+4円)
- 期末配当予想... 1株当たり**22円**の予想。(前期・期末から+2円)



【年間配当予想】  
1株当たり**44円**



**【お問合せ先】 経理財務部 財務課**  
**TEL:06-6260-3486 FAX:06-6260-3460**

――本資料取扱い上の注意――

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確実性の要素を含んでおります。従いまして、通常予測し得ないような特別事情の発生や通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

よって投資家の皆様につきましては、本資料の将来見通しのみに依拠することなく、投資に関するご決定は皆様自身のご判断で行っていただきますようお願いいたします。

なお、本資料で使用するデータ及び表現の欠落・誤謬等に関しましてもその責を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。